

特別編 応急手当特集

今回の非常食情報は特別編として過去に掲載したマンガを厳選して掲載いたします。

災害時には、たくさんのけが人が発生するため応急手当が必要な場合があります。とっさの時にあわてないように、事前に必要な手順や道具を押さえておく効果的な手当てができるでしょう。



電子書籍『早わかり防災マニュアル2』
日本出版制作センターから好評発売中！

- 電子書籍 Kindle 版
- 定価：990円（税込）
- Amazon で発売中！

日本出版制作センターの書籍販売サイト
もどうぞご利用ください！
<https://www.center-net.jp/sales>

応急手当は大事！

医療機関での治療には限りがあるので災害時にはその場に居合わせた人による応急処置が重要です

適切な方法で速やかに行えば命を救うだけでなく、早期回復にもつながります

医療用の器具がなくても身の回りのもので代用できますよ

う～んでもなあ～いざという時に冷静に対処できるか自信ないなあ

防災訓練でも応急手当の講習を行うことがあります参加してみてもいいですか？

正しいやり方を覚えて人の役に立ちたいね

応急手当・止血編

出血の手当の基本はガーゼなどを当てて傷口を強く押さえる直接圧迫止血です

傷口はなるべく心臓より高く

感染症防止のためビニール袋などをつける

ガーゼの代わりにタオルやハンカチ、ラップや生理用品でも止血できます清潔なものを使用して下さい

血に染まったら新しい布を上から当てる

血が止まったら包帯を巻く

シャツやネクタイでも可！

腕の付け根をしぼらなくていいの？

それは専門的な処置なので一般人には不向きなようです

応急手当・やけど編

やけどの手当てで大切なのは冷すことです。清潔な水で15～30分くらい冷します。

ガーゼを当てて水でぬらしてもいい

はれるので指輪や腕時計ははずす

服を着ている状態でやけどを負ったら 服は脱がさずに服の上から水で冷やします

水ぶくれはつぶしてはいけません自己判断で薬やアロエを塗るのもNG！

やけどが広範囲にわたっているときは、低体温になるおそれがあるので冷やさないようにします

皮膚の色が白または黒く変わっていたり熱い煙を吸って気道にやけどを負った場合も手当てはせず救急車を待ちましょう！

応急手当・骨折編

- ・骨の折れた音がした
- ・患部の変形、腫れ上がり
- ・傷口から骨の先端が出ている

…という場合は骨折の手当が必要ですよ

固定して動かさないようにするのが基本！

固定するものは板や傘、段ボールなどで代用できます

出血していたら出血の手当をしましょう

骨が突き出していたら元に戻そうとせず清潔なガーゼ等を当てた上から包帯やシャツでくるみます

むやみに動かしたり細菌に感染することによる二次的な損傷にも注意です

応急手当・体位編

傷病者には症状に応じて適切な体位を取らせてあげましょう

最も安定した姿勢

背中につけをしているときや嘔吐しているとき

意識のないときに（あごを前に出す）

適切な体位にすることで舌漏れを和らげ、呼吸を楽にし、症状の悪化を防ぐことができます

15cm～30cm

吐血や出血性ショックのとき

胸や呼吸が苦しいとき、腰をかがしているとき

呼吸が苦しいとき

ただし無理をして体位を変える必要はありません痛みや不安を与えないようにね

AEDは時間が勝負！

AEDは見たことがありますよね

けっころあちこちにあるよね

倒れている人がいたらすぐに救急車を呼んでAEDの用意です

使い方は音声ガイドが教えてくれます必要のない人に電気ショックを与えることもないのでとにかく使ってください

もちろん早く使用した方が生存率は高まります

ネットやスマホアプリで設置場所がわかるんだ！家とか職場の近くは覚えておいた方がいいな